

令和7年度ブナ豊凶予測について

1. 目的

森林の更新や野生動物の生息に影響を与えると考えられているブナの実の豊凶を調査することにより、森林生態系への影響や異変を察知するため、ブナの豊凶調査(豊凶予測及び豊凶結果)を行っています。

2. ブナの豊凶予測の方法

ブナの豊凶予測は、春先にブナの雄花が落下する性質を利用して、雄花の数から雌花の数を推定し、推定した雌花の数により豊凶について判定しています。



なお、この豊凶予測は、平成27年度まで行った山形大学農学部との共同研究の成果を基に判定しています。(山形県では、およそ5月頃雄花が落下します。)

3. 調査方法及び調査時期

県内15カ所のブナ林の調査地にトラップ(面積約1㎡の円形ネット)を設置し、落下したブナの雄花を数えます。4月末から6月に調査し、豊凶予測を行います。

4. ブナ雌花の推定式及びブナの豊凶予測方法

平成16年から令和5年までの豊凶調査で得られたブナ雄花数及びブナの種子数から、ブナ雌花数(種子数)を推定する式を求め、推定した雌花の数により豊凶を予測します。

◆令和7年度の雌花の推定式◆
 推定の雌花数 = 雄花数 × 0.34654 + 32.30164

調査地番号	調査箇所	雄花数(個/㎡)	今年の推定雌花数(個/㎡)(A)	豊凶予測	
				(A) < 90	凶作
1	湯の台	0.0	32.3	90 ≤ (A) < 350	凶作
2	羽黒山	0.0	32.3	(A) ≥ 350	並作
3	関川	1.4	32.8		豊作
4	沼の台	0.0	32.3		凶作
5	西小俣	0.1	32.3		凶作
6	与蔵峠	-	-		— ※
7	鍋越峠	46.3	48.3		凶作
8	弓張平	0.0	32.3		凶作
9	月山自然博物館	0.0	32.3		凶作
10	黒伏	8.8	35.4		凶作
11	蔵王(鳥兜)	0.0	32.3		凶作
12	駒立	0.0	32.3		凶作
13	徳綱	0.0	32.3		凶作

※土砂崩れのためトラップを設置できず

ブナ豊凶予測箇所 位置図

令和7年6月25日
山形県環境科学センター

